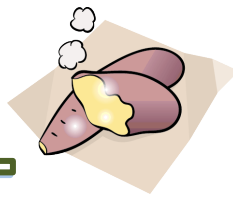




グレーター・ヒューストン 日本人会ニュースレター



Volume 21

November 2011

(2011年11月号)

【10月のイベント】

A) 山本条太新ヒューストン総領事歓迎会



10月30日日本人会主催の山本条太新ヒューストン総領事歓迎会をパインフォーレスト・カントリークラブで行いました。当日はヒューストンの秋晴れに恵まれパーティー会場からは美しいゴルフ場の風景が楽しめました。

山本ヒューストン総領事は10月7日に前任地のカラチからヒューストンに着任されました。ヒューストンに来られるまでは外務省条約課、国連代表部、内閣法制局参事官、慶應義塾大学総合政策学部教授そしてパキスタン公使など幅広い分野を経験されています。

大学教授をされていたご経験があるので、わかり易く今後の抱負を語られ、さらにユーモアを交えた挨拶に会場は非常に盛り上がりました。ヒューストンクロニクルに掲載されるようなイベントは本省からの支援も受けやすいとの事ですので、新総領事とともに日本人会の募金活動や日本音楽のイベント等を行っていただければと思います。

今回はこれからいろいろお世話になる山本新総領事を囲んで、様々な話が聞けて、出席者の皆さんからはとても良い機会でしたとの感想が多く聞こえました。最後はカントリークラブの庭で記念撮影を行い解散となりました。

B) ワインと共に楽しむ休日のランチ会



10月15日（土曜）に、昨年からはまった”乾杯の集い”に伴うワイナリーツアーを今年も開催しました。今回は、カレッジステーションにある老舗ワイナリー、Messina Hof Wineryを訪れました。創業者であるMerrill とPaul の家族の故郷であるイタリアのMessina とドイツのHof にちなんだこのワイナリーは、1977年に操業を開始したテキサス州の中でも3番目に古いワイナリーで、歴史と伝統に裏打ちされた素晴らしいワインを世に送り出してきました。現在では、アメリカの10州のみならず、海外4カ国に輸出するほど名が知られるようになって来ました。

まず、ワイナリーツアーに参加。炎天下のビンヤードで説明を受けてから、生産が終わって休養中の工場内、貯蔵倉に入るとその涼しさにほっと一息。喉が渴いたところでツアーの最後にはワインテイスティングで“初心者”も”上級者”も飲み方を教わり、4種類のワインを味わいました。あまりの喉の渴きに、呑み方講習の前に最初に注がれた冷えた白ワイン：ピノグリッジオを飲み干していた参加者もありました。そして、お腹も充分減ったところで、参加者全員で併設のレストランへ移動。まずは、テイスティングで試飲したワインを注文。食事は、メインからデザートまで、どれも自社のワインを使用したメニューになっており、特に目の前で調理をしてくれるデザート、Flambé Dessertは目にも楽しく美味しくいただきました。次の機会にはこちらのワイナリーのホテルに宿泊して、ワインとの一時をもっと堪能したいと思います。



C) 第8回乾杯の集い



第8回”乾杯の集い”をグレーターヒューストン日本医学会および日本人会の共催で開催しました。能勢先生が発起されたグレーターヒューストン日本医学会の”乾杯の集い”は、人が集い楽しむこと、その人たちの笑顔を見ることが好きだった能勢先生への追悼の意を込めまして、予定どおり10月22日（土曜）に行なわれました。総参加者数は66人（大人57人子供9人）となり、下戸も上戸も子供も大人も、集った皆さんの楽しい顔に恵まれて、おかげさまで、盛大でとても楽しい会となりました。

今回のテーマは、「世界のワインを楽しもう！」と題して、おなじみのフランス、イタリアをはじめ、ちょっとスィーティなドイツやスペインなどヨーロッパ系のワイン、第三国ワインとして有名であるニュージーランド、アルゼンチン、南ア、オーストラリアのワイン、そしてアメリカのカリフォルニアに、御当地テキサスワインが集められました。また、恒例のワインクイズ、そして勝ち抜けジャンケンではワインを戦利品として参加者全員が歓喜あふれる中、片手を振り上げ戦いました。ワインクイズの優勝者は、未成年！君。ご家族と毎年参加の彼は、飲まずしてもワインの知識はかなり増えているのではと思われました。

“乾杯の集い”という、いかにもアルコールを飲むことが主のようなネーミングですが、“老若男女家族友達みんな誰もが楽しむ”ということが、この“乾杯の集い”の当初からの趣旨でした。この趣旨を今後も変わらず受け継ぎ、乾杯の集いを開催していきたいと思います。



D) 若き津軽三味線奏者の浅野祥さんの演奏会



10月28日（金）セントトーマス大学の音楽堂で「若き津軽三味線奏者の浅野祥（しょう）さんの演奏会」が総領事館・日本人会・日米協会・日系日本人会共催で行われました。この演奏会の入場料は全て浅野さんの出身地である東北の震災復興チャリティの募金に回されています。

浅野さんはもの心ついた頃より三味線を弾くポーズをとっては民謡を口ずさみ、3才6ヶ月で和太鼓を始め、5才の時おじいちゃんの影響で三味線を手にし本格的に津軽三味線を始めています。1998年5月、津軽三味線全国大会D級（15才以下）の部で優勝。1999年5月、津軽三味線全国大会C級の部で優勝。2002年5月、津軽三味線全国大会ではB級の部で優勝。2004年5月、14才にて津軽三味線全国大会の最高峰であるA級の部で優勝。津軽三味線全国大会の最年少記録を更新し、史上最年少のチャンピオンとなり、その後連続優勝中です。ちなみに現役の慶応大学生で試験期間中は公演は控えられているそうです。

公演は「三味線を聞いたことがありますか？」と笑顔で問いかけながら始まりました。明るい笑顔でこの上なく楽しげに奏でる演奏は会場の聴衆と一体化し、手拍子も始まりました。津軽三味線独特の力強く、かつ寂寥感のある様々な曲はまるで日本のコンサートホールに居るような錯覚を与えました。三味線だけでなく歌も語り方も上手で、幅広い才能の一端も垣間見ました。合間に浅野さんの三味線に合わせてウッドランド高校の生徒さんが「よさこい踊り」を力強く踊られました。演奏終了後は拍手の渦で席を立つ方が居られず、アンコールで一曲弾いてくれました。その曲は「上を向いて歩こう」で三味線に合わせて会場の皆さんと一緒に歌われました。まさに東日本復興と一緒にやっという雰囲気が盛り上がりしました。

今回の公演はテレビジャパンで11月5日に放映されています。浅野さんの三味線の演奏の場面と浅野さんからの日本の被災地への思い、ヒューストン日本人会の武智会長から今回のチャリティーイベントについての経緯とヒューストン日本人会から日本の被災地へ対しての思い、そして観客のアリサさんから今回のイベントについての感想が述べられ公演の盛り上がりを非常にうまく纏められていました。



2. 能勢之彦先生、告別式回顧録



10月23日に行われた能勢先生のメモリアルサービスの回顧録を、準備・司会を担当された本村先生に寄稿していただきました。当日、出席できなかったか方々にも当日の状況が良くわかると思います。



メモリアルサービス打ち合わせの際中、葬儀場の責任者マイケルが「メモリアルサービスに一時間半以上かけるなんて、あまりお勧めできません」と申し訳なさそうに口を開いた。要するに、長すぎるというのだ。

10月13日人工臓器の巨星、能勢之彦教授が逝去した。そして十日後の23日、告別式をヒューストン市内の葬儀場で執り行った。悲しみの最中、ともかく事務的な作業を進め、その傍ら日本をはじめ世界各地から届くお悔やみや質問に出来る限り誠意を尽くして対応した。お花などお構いなく、とお伝えしていたにも関わらず、会場は色とりどりのスタンドフラワーで飾られ始めていた。式典のチェアマンを務める本村です、と伝えると心得たとばかりに近づいてきた。

「あなた、お花が全部会場に入るかどうか分かりませんよ。外にもう一つ大きなコンテナが届いているのですから」

その一時間後会場のメインチャペルは溢れんばかりの美しい花で埋め尽くされ、二百人近い参列者が故人を偲び集まった。見慣れた顔から初めてお会いする方、はるばる日本から駆け付けた懐かしい面々まで勢ぞろいしていた。開場前、能勢先生の奥様の亜子さんの周囲には一目会ってお悔やみを、という参列者であふれていた。チャペルの入り口には思い出の写真集がポスターボードとして飾られていた。幼少時から学童、医学部へと進んだ能勢先生が、岩見沢の能勢から世界の能勢へと飛躍する道程を記録した写真の数々。人々はその一つ一つに興味深く見入るとともに、そんな能勢先生がもうこの世にいないのだ、という悲しみの色を一様に浮かべていた。そう、あんなに屈強で元気だった能勢先生がお亡くなりになったのだ。

式典は能勢先生の友人である小杭（おぐい）和尚を招き、仏式で執り行った。亜子さんと能勢先生の結婚儀式を執り行ったのも小杭和尚であり、メソジスト病院内チャペルの十字架の前で袈裟をまとった仏教のお坊さんが二人の誓約を見届ける、という当時異例のスタイルだったらしい。そんな小杭和尚のお話に『さすが能勢先生だね』と皆がほほ笑んだ。そして小杭和尚が戒名、『大空院釈白雲信士』を読みあげた。でっかい能勢先生にピッタリの戒名である。「どうだ、いい戒名だろう！」と威張る能勢先生の顔が浮かぶ。本来なら亜子さんが能勢先生を肘でつつき、「先生、そんなに威張らないの！」と叱る。「いいんだよ亜子、だって俺は偉いんだよ」と答える。そんな二人のやり取りがお決まりだった。

世界的科学者であるとともに、ヒューストン日本人コミュニティーの発展に尽力した能勢先生を偲び、四名が代表で別れの言葉を述べた。在ヒューストン日本国総領事館の山本総領事、グレーターヒューストン日本人会の武智会長、メモリアルハーマン病院の西川先生、そして能勢先生の闘病を見守りかつMDアンダーソン病院のストローリン先生がそれぞれ印象的なスピーチを行われた。告別式でなければ拍手をしたいような素晴らしいお言葉でした。

さあ、もう既に一時間一五分が過ぎていた。式典を円滑に運営すべき司会進行役としてはヒヤヒヤしていたが、冷静に会場を見回してみた。すると誰一人として退席する人がいないことに気付いた。小杭和尚の説法が終わり、最後に親族を代表して亜子さんが参列者にむけて挨拶した。泣き崩れもせず最後までキチンとスピーチを読み終えた亜子さんの姿は、悲しみに耐え抜こうとする女性の強さを超え神々しくさえ映った。能勢先生亡き後、亜子さんを支えていかねばと心に強く誓ったのは私だけではないと信じている。そして一時間半の式典がすべて終了した。

メモリアルサービスが終わり、責任者のマイケルが亜子さんに言った。「一時間半の式典なんてあまりに長すぎると思ったけど、だれも退席しませんでしたね。おどろきました。こんな素晴らしいメモリアルサービスは初めてでした！」、と。

能勢先生、どうでしたか。満天いただけますか？

（本紙面をかりて、能勢先生をお見舞いいただいた方々、当日式典に参列頂いた皆様に心より御礼申し上げます。また式典の準備から当日の運営までお手伝いいただいた、寺田さんご夫妻、原まりこさん、マリハートさん、坂下みわさん、その他の関係者の皆様に深謝いたします）

<メソジスト病院 本村 禎>



3. 今後のイベントのお知らせ

12月2日（土）「テキサス産の日本酒テイスティング」のご案内

今年10月、テキサス州で始めて日本酒が製造されるようになりました。テキサス産のワイン、ビールはありますがテキサスの米を原料にしたテキサス産の日本酒は初めての試みです。もともとテキサス州は全米でも屈指の米の生産地で100年以上前に日本から輸入された米をベースにしています。オーナー兼社長のエド氏は日本の蔵元で修行をつみオースティンにテキサス産日本酒の蔵を完成させました。100%オーガニック米を使用した日本酒は米国で初めてです。テキサス州知事のリック・ペリーもテキサス産の日本酒製造・販売に力を入れておりテキサスの各都市で飲める機会が増えそうです。

今回、JETRO ヒューストン事務所のご好意で、日本人会・日米協会共催の12月2日（金）2時から3時までJETRO 会議室でテキサス産の日本酒テイスティングを行えるようになりました。なお今回のイベントは日本人会・日米協会共催となります。

日時： 2011年12月2日（金）午後2時～3時
場所： JETRO Houston
1221 McKinney, Suite 4141
One Houston Center,
Houston TX 77010

参加費用： 無料

※参加ご希望の方は以下の連絡先までご連絡願います。

E-Mail: stakechi@wt.net TEL: 713-818-2326



Texas Sake Company

<http://www.txsake.com/>

※なおJETRO事務所以外でもテキサス産の日本酒のテイスティングが以下の場所・日時で行われますのでご参加下さい。定員・参加費などに関しては各レストランに直接お問い合わせください。

12月2日（金） 5時～7時

寿司楽（ダウタウン）Sushi Raku
3201 Louisiana Street
Houston, TX 77006
(713) 526-8885
<http://www.sushi-raku.com>

12月3日（土） 5時～7時

SOMA（ワシントンアベニュー）
4820 Washington Avenue
Houston TX 77007
(713) 861-2726
<http://www.somasushi.com/>

12月10日（土）「チャリティー映画上映会」のご案内

今般、商工会婦人部委員会が日本人会並びに補習校のご協力を得て、「母の道、娘の選択（日本語・英語字幕つき）」という映画のチャリティー上映会を行いますので、ご案内申し上げます。

この映画は、ロイター通信社の記者である我謝京子さんによるドキュメンタリー映画。ニューヨークで生きる日本人女性らが語る「日米の働き方の違い」や「育児と仕事の両立」、「日本を飛び出したことへの罪悪感」などを捉えながら、彼女らの親世代との比較につながり、やがて我謝さん自身の母娘3世代の関係と日本を見つめなおすという、インタビュー形式の作品です。

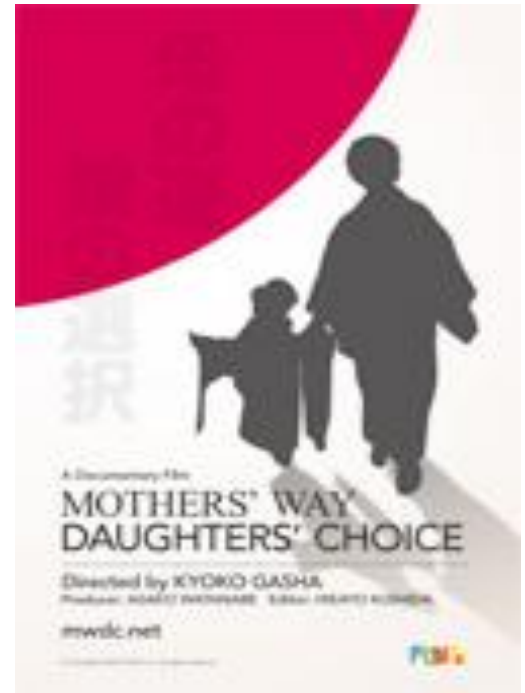
当日、東日本大震災とトルコ地震被災者救援のための義援金として、お一人様\$10以上を入場料の代わりに徴収させていただきますのでよろしくご協力下さい。
(ただし高校生以下は無料です。)

集まった義援金は、婦人部、日本人会そして補習校連名で、総領事館やトルコ関係団体などを通じ被災地へ送金することとなります。

日本語と英語両方の字幕つきですので、ご家族だけでなく日本人やアメリカ人の同僚やお知り合いなどにもお声をかけていただき、できるだけ多くの方々にご参集いただけますよう、ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

上映日時：2011年12月10日（土）午後1時～（本編85分）
上映会場：補習校オーディトリウム
Westchester Academy for International Studies
901 Yorkchester, Houston, TX 77079

お問い合わせ先：ヒューストン日本商工会婦人部委員会
Email: jbaheigajoueikai@gmail.com



12月11日（日）「忘年会・クリスマス会」のご案内

恒例の日本人会の忘年会・クリスマス会を以下の通り開催致しますので、皆様のご参加をお待ちしております。

会場はスペイン料理で有名なRiojaです。特に大きなフライパンで作るパエリアは非常に好評で、様々な賞を受賞しています。
場所はWestheimerとKirkwoodの角のモールになります。
なお、恒例のクリスマスプレゼント交換会を行いますので各人10ドル相当のプレゼントをお持ち下さい。

日時： 2011年12月11日（日）午後1時
場所： Rioja Restaurant
Address: 111920 - J Westheimer,
Houston , Tx- 77077
<http://www.riojarestaurant.com/>
Phone: 281-531-5569

Dress Code: Casual

参加費用： 一人 \$25（ソフトドリンク・デザート、税金・サービス料込みです。）
非会員は\$30.
アルコール等の飲み物は個別にお願い致します。

参加申込みは原万里子さん迄メール（mariko_hara1969@yahoo.com）もしくはお電話（832-868-2333）でお願い致します。

申込締切は12月7日ですがお早めにお申込み下さい。なお参加申込後、参加出来なくなった場合には必ずキャンセルの連絡を入れて下さい。

4. 平成 23 年（2011） 10 月度 日本人会理事会議事録

日時： 10/11/2011 PM7:00-PM8:00
場所： クボーズ
議長： 武智真二（会長）
出席者： 武智真二（会長）、松村博夫（副会長）、佐藤裕子（副会長）、渡辺龍二（特命副会長）加藤伸之（会計）石川浩介（会則代行）杉田洋一（財務）坂下美和（理事）山口貴子（理事）南邦夫（理事）直木純二郎（理事）、高山宣昭（安全対策）、出海章弘理事、まりハート理事

1. 募金活動
現在も募金収入が続いており残高は9月末で\$5,303.31。
2. 会員状況
9月末で会員数は129となり昨年同時期（会員数95）よりも増加している。
会員申し込みと同時に、情報が更新されるようなシステムを熊畑さんに依頼済み。入会日も名簿に載せていく。
3. プログラム
10月 ワイナリーツアー(10/15)、秋のテニス(10/16)、乾杯の集い(10/22、16:00-19:00、UTハウジング)、津軽三味線(10/28、18:00-21:00、セントトーマス大学・Cullen Music Hall)
11月 みんなの懇親会、テキサス会（ゴルフ大会）

4. 広報

- 1) ニュースレターの内容の充実
- 2) Twitter, Facebook の活用を行い、新規ウェブメディアを通じて会員交流や情報提供。
- 3) Southern Journal への記事の提供継続。
- 4) ウェブ管理人の熊畑さんと会員名簿のオンラインデータベース化。
- 5) ガルフストリームの閲覧をウェブサイト化。ガルフストリームの郵送件数が減った。
- 6) 会員特典情報の更新：ウェブサイトの会員特典、これを更新。

5. 日本庭園について

今後、中井先生の弟子が引き続いて日本庭園のデザインをおこなっていく。

中井先生には感謝の寄せ書きなどを送ることを検討していく。

6. 山本新総領事の歓迎会を日本人会として行う予定。(10月30日)

7. その他連絡事項

- (1) Tシャツの管理；山水会館へもおけるようにする。
- (2) 日本人会ロゴ商標の更新登録完了
- (3) スピーチコンテストの状況（テキサス大会優勝者が世界大会でも2位になる）
- (4) 新年会；小野監査役が担当。
- (5) 落語家の古今亭菊志ん師匠公演(来年2月予定)
- (6) ピクニックの結果：750名、ラッフル売り上げ5,618\$
- (7) 日本人会 P.O Box 変更： P.O.Box 130954、Houston, TX 77219
- (8) メンバーカードに関して：
入会と同時に会員特典をすぐ使いたいという方のために、仮会員証というのをPDFでつくり入会申し込みがあった場合すぐにメールで送信し、本会員証が届くまでは仮会員所のプリントアウトと同じ名前がかかれたその他のフォトID（免許証やパスポートなど）と一緒にお店の方に見せると本会員証同様の割引特典が受けられるという対応をとることに決定。

8. 第3四半期、2011年1-9月予算実績対比、及び募金の会計報告

日本人会口座：期首残高 49,830.08\$ に対し 9月末残高 \$52,762.66 となっている。

会計報告書は専門家にきちんと見直してもらい、継続性のあるものにしていく。

以上

※ ニュースレターの最新号、及びバックナンバーはウェブサイトより覧いただけます。
<http://www.jagh.org/main/newsletter/>

※ 広報委員会ではニュースレターで取り上げて欲しいトピックス、イベント、同好会活動などを募集いたしております。また、記事の執筆にご協力いただける方も随時募集いたしております。ご興味のある会員の方は jagh.mail@gmail.com までご一報ください。



グレーター・ヒューストン日本人会 (JAGH)
<http://www.jagh.org>